

ありがとう！  
SL人吉

誕生から100年以上の時を経て、今年3月に引退したSL人吉。黒煙を上げながら力強く走り、石炭の匂いや汽笛の音とともにたくさんのお客さんに乗せて本市に元気を届けてくれました。これまで広報ひとよしに掲載した写真などから、その雄姿を振り返ります。

- 1 平成27年に開館した人吉鉄道ミュージアムは、展望台やミニトレインからそばを走るSL人吉を見ることができ、人気スポットに
- 2 停車中の機関士や客室乗務員との会話も乗車の楽しみのひとつ
- 3 下原田町の桜のトンネルを走るSL人吉を撮影しようとカメラマンや鉄道ファンが集まった
- 4 毎年の最終運行日にはセレモニーが開かれ、多くの市民らが手を振って見送った
- 5 SL人吉を間近に見ながら説明を聞くことができる人吉鉄道観光案内人会の見学会には、子どもたちや鉄道ファンが参加
- 6 大正ロマン風の衣装に身を包んだ市民らが乗客を出迎えた「ノスタルジック人吉」。人吉駅のホームはタイムスリップしたような雰囲気に
- 7 SL人吉を方向転換するための転車台。全国的にも貴重な転車の様子を見ることができると人気だった

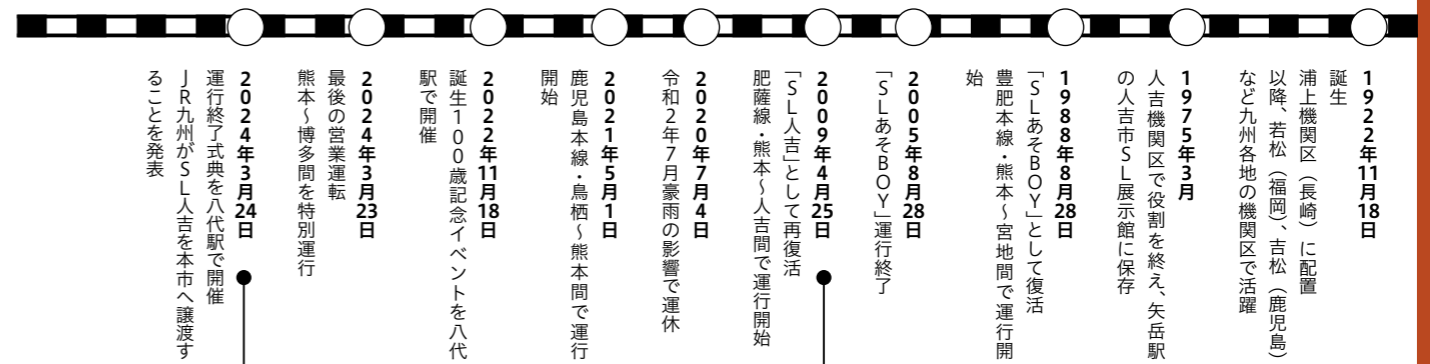


人吉市長 松岡 隼人

国産で現役最古の蒸気機関車として、長きにわたり活躍してきたSL人吉の雄姿をこれからも市内内外の皆さまに見ていただき、本市の観光のシンボルとなるよう、まずは市内に展示環境を整備したいと考えています。将来的には動く状態で展示し、SL人吉の魅力を見て、触れて、感じていただけるような展示・保存方法も検討していきます。

SL人吉の引退が令和4年10月に決まって以降、「走っても走らなくても、最後是人吉市に帰ってきてほしい」という市民の皆さまの願いをJR九州に要望し続けてきました。そして3月24日、悲願であった本市への譲渡が発表されました。

里帰りするSL人吉を  
観光のシンボルに



SL人吉の歴史